

ブラインドラインサッカー 自然の家 Ver

場所	プレイホール (半面での貸出)		
時間			
値段	無料		
季節	年間	人数	
準備物	【利用者】 体育館履き、活動に適した服装、ホイッスル、救急用品など 【自然の家】 ブラインドサッカー用ボール、コーン (フットサル用ゴール)		

プログラムの概要・ねらい

ブラインドサッカーは、パラリンピックの正式種目であり、目を閉じて行うサッカー。転がると音が出る特別なボールを使用して行う。公式のルールでは初心者にはハードルが高いため、自然の家のルールで紹介する。プレーする選手の他にも、声で指示を出す役割が必要など、皆の協力が必要なスポーツ。

①準備

コートとして利用するラインを確認しておく。
サービスセンター受付で、プレイホールの倉庫の鍵と道具を受け取る。

②実施の流れ

- 道具：ブラインドサッカー用ボール (転がると音がするので、位置や転がりかわかる)
- ルール：ブラインドサッカーの公式ルールはあるが、ここでは自然の家ルールを紹介
- ◇ボールの音や味方からの指示、相手選手の声が大切な情報です。それを妨げないように、プレー中は観客も静かに見ることが求められます。ただし、ゴールが決まった瞬間は大歓声でゴールを知らせてあげましょう。

<コート>

- ・フットサル用のコートを使用。ゴールはエンドラインにコーンを設置する。ゴールラインの幅は、子どもの動きに合わせて自由に設定する。※フットサル用のゴールを使っても可。(1面分有り)

<チーム>

- ・1チームフィールドプレイヤー4人~6名+キーパー1名で編成。その他、監督1名+ガイド(コーラー)1名。
- ・2チームで試合をする。
- ・試合をしていないチームは、プレイヤーが周囲の壁にぶつからないようにコート周辺に待機し、声をかける。両サイドにラインズマン2名~4名を置く。

<役割>

フィールドプレイヤー：目を閉じてプレーする。

キーパー：目を開けてプレーする。自陣での守りについて、プレイヤーに声で指示を出す。

監督：コートのサイドライン真ん中に立ち、ピッチ中盤でのプレーに声で指示を出す。

ガイド(コーラー)：敵陣ゴールの裏に立ち、攻めている場面でゴールの位置と距離、角度、シュートのタイミングなどを声で伝える。

ラインズマン：サイドラインからボールが出た場合、ホイッスルで知らせる。

※プレイヤー同士の声の掛け合いを含めたコミュニケーションが勝負のカギを握ります



<ゲームの進め方> ※基本はラインサッカーのルールを適用

- ・ジャンケンで勝ったチームからキックオフ。
 - ・前後半10分で実施。(子どもの様子によっては、時間を延長・短縮してもよい)
 - ・フィールドプレイヤーはボールを持った相手に向かって行く時に、「ボーイ！」と声を出さなければいけない。
- ※選手が存在を知らせ、危険な衝突を避けるためのルールです。発しない場合は、ファールを取られます。

<PKと第2PK>

PK：ペナルティーエリア内での反則(ファール)には、相手チームにPKが与えられます。ゴールから6mの位置から蹴ります。(次ページイラスト参照)

第2PK：前後半それぞれ、チームで累積するファウルが4つを超えた場合に、相手チームに与えられます。ゴールから8mの位置から蹴ります。(次ページイラスト参照)

<バリエーション>

- ・プレーする前後に作戦時間を設け、戦略を練ってからプレーする。
- ※安全には十分に気を付け、けがのないよう留意する。

ブラインドラインサッカー

※試合をしていないチームは、コート周辺にて待機し、プレイヤーが壁にぶつからないよう声をかける。



- ◇フットサルのゴールを使用すると、キーパーは目を開けている為、シュートが入りづらくなる。ゴールは使用せず、横幅をゴールラインとする事で、得点が入りやすくなる。
- ◇ブラインドサッカーの公式ルールは、ホームページを参照。(http://www.b-soccer.jp/)

③後片付け

備え付けの掃除用具で、プレイホールの床をモップがけする。
 使用した器具や用具を倉庫の元の場所へ片付ける。
 倉庫の鍵をサービスセンター受付へ返却する。
 器具や用具に破損や故障があった場合は、サービスセンター受付に申し出る。